



大好評！ あん School のイベント

《保育士・矢島》

皆さん、こんにちは。あん School 保育士の矢島です。
あん School では、季節の楽しいイベントを行っています！
その様子をいくつかご紹介しましょう。

玉ねぎ掘り

あん School の隣の浜さん（卓球の監督）のお誘いを受け、玉ねぎ掘りをしました。
「おーい！玉ねぎ掘りに行くぞ！」「はーい！」とワクワクしながら畑へ。
「葉が横を向くように、倒れているのを抜くんだぞ！」「これかな」「そうだ！」張りきって次々と収穫していく子ども達。活動参加にちょっぴりドキドキする子ども、皆の楽しそうな様子を見て「僕もやる！」と参加。沢山収穫した玉ねぎは、おうちに持ち帰りました。夏休みに行うカレー会の具材にもする予定です。



かき氷会

はじめてのかき氷作り。皆、かき氷機が動き出すのを、興味津々で見っていました。
「僕がお手伝いするよ。スイッチ押すね！」とお友達が作り始めると、「僕はお皿を持っているね！」と自主的に動き出す子ども達。
自分が食べるのは後回しにして、皆の分も張りきって作ってくれました。お友達の思う気持ち、自分からやってみようという行動。活動を通して、子ども達の成長が日々見られ、嬉しく思います。
シロップ、あんこ、ミルクとお好みの味を楽しみ、準備や片付けもみんな協力してできました。



お買い物へ行こう

子ども達のおやつを買いにお店へ。お友達の誕生日会のケーキのトッピングを買います。「何がいいかな」「果物がいいと思うよ」「チョコスプレーとかもいいんじゃないかな」「どこにあるかな」と何を買おうか、皆で相談をしながら商品を選んでいきます。見当たらない物があれば探したり、店員さんにお聞きしたり。レジに並び、お会計も子ども達が行います。買った商品はエコバックに入れて、あん School まで持ち帰ります。
こうした一つ一つの行動を大切にしています。日々の積み重ねの経験が、子ども達の生活の力になっていきます。子ども達の「できた！」を増やしていけるように、支援しています。誕生日会のケーキは、皆でおいしくいただきました。



地域とのつながりに感謝

《児童指導員・武者》

あん School の強みの一つは、地域の方々とのつながりです。あん School の建物の大家さんである浜さんは、卓球スペースを提供してくれるにとどまらず、子供たちが畑で野菜の収穫を体験できるよう、玉ねぎ畑で収穫する計画を立ててくれたり、子供たちが収穫した玉ねぎをそのままプレゼントしてくれたり、惜しみない支援をしてくれます。また、夏休みに開催されるあん School ガーデンも、地域の方のご協力によるものです。



今、あん School の子供たちの間では、卓球が熱いです。卓球をする時には、浜さんのお友達の竹村さんや近所の方々もお手伝いに来てくれます。「子供たちに楽しんでもらいたい」「自分も動かなきゃ」と、子供たち、あん School のためにご厚意で行なってくれ、一緒に楽しみながら活動してくれるのです。



夏休みに開催されたブルーベリー狩りも、地域の方にお知り合いのブルーベリー農園を紹介していただいたことで実現しました。地域の方々からの応援は、実に嬉しいものです。あん訪問看護ステーションで今まで繋

がった地域の方々との縁も、大きな力となってあん School を支えてくれているように感じます。

子供たちにとって、世代を越えた方々とのふれあいは、よい経験になっています。家族とも学校の先生とも違う大人との関わりは、子供たちの成長のチャンスです。例えば、S-M 社会生活能力検査の中に「敬語を使う」という項目があります。実際、あるお子さんが、あん School の先生には使っていない敬語を浜さんたちには使ってお話する場面を見かけました。これも成長の一つかなと思います。

地域との関わりが薄れているようにも見える現在、このような活動ができるのは本当にありがたいことです。地域の皆さんに応援していただきながら、ご縁に感謝し、子供たちへの支援を行っていきます。



次回予告 | 2022年
10月発行

特集

「人に慣れる」

山内康彦先生の「第2回保護者のための特別支援教育講演会」

日時:令和4年11月6日(日) ①9時半～11時半 ②13時～15時
場所:茅野市中央公民館

午前講演会① ～不登校でも支援級でも大丈夫～ 『特別支援が必要な生徒の高校進学の話』
午後講演会② ～なるほど！今日からすぐに使える具体的な学習支援～ 『特別支援が必要な子供の学習支援（国語・算数）』



一般社団法人
障がい児成長支援協会
障がい児成長支援協会諏訪地区支部長
ライフライク(株)